

マルチディシプリナリーアプローチ18日間コース

Instructor



渡辺 隆史
Takashi Watanabe
(コーディネーター)



上濱 正
Akira Uehama



貞光 謙一郎
Kenichiro Sadamitsu



龍田 恒康
Tsuneyasu Tatsuta



辰巳 順一
Junichi Tatsumi



林 丈一郎
Joichiro Hayashi



平井 順
Jun Hirai



宮崎 真至
Masashi Miyazaki

パッケージコース(一括受講)

【パッケージコース番号:13220300】

¥ 800,000

主な認定制度

- ☐ 日本歯科医師会認定研修会
- ☐ 明海大学「歯科総合医」認定研修会
- ☐ 明海大学大学院生の単位認定コース

コースの詳細・お申込みは
こちらから▶



MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE

INTRODUCTION

一口腔単位の質の高い治療を実現するには、様々な角度から症例を分析し、多彩な治療の選択肢を持って治療に当たらなくてはなりません。それが、マルチディシプリナリーアプローチです。

本コースは、歯内療法・歯周治療・保存修復・クラウンブリッジ・有床義歯・口腔外科・部分矯正・デジタルデンティストリーなどの各分野をバランスよく学ぶことのできる、実践型の臨床コースです。

各セクションにおいては、講義と実習を交互に行うことで、理解を深め、確実に臨床応用できるように工夫されています。

また、パッケージ受講(全てのセクションを受講)することで、治療計画からメンテナンスまで、一口腔単位で治療を行うための一連の流れを理解することができます。症例発表を通じて、症例をまとめる力が身に付きます。



紹介動画を見る▶

プログラム内容

パッケージコース対象特別講座

オリエンテーション

WEB配信

診査診断治療計画:戦略的治療計画

講師/渡辺 隆史・龍田 恒康

まとめ

予防とメンテナンス

ケースプレゼンテーション

講師/渡辺 隆史

WEB配信

マルチディシプリナリーアプローチ1・2

(歯周コース)

歯周治療の診査・診断と治療計画 (歯周治療I)

講師/林 丈一郎・渡辺 隆史

(歯周コース)

歯周基本治療(歯周治療II)

講師/林 丈一郎・渡辺 隆史

マルチディシプリナリーアプローチ3・4

(歯周コース)

歯周外科処置の基本(歯周治療III)

講師/辰巳 順一

(歯周コース)

オープンフラップキュレタージ (歯周治療IV)

講師/辰巳 順一

マルチディシプリナリーアプローチ5・6

(歯周コース)

切除療法と根分岐部病変の治療 (歯周治療V)

講師/渡辺 隆史・辰巳 順一・林 丈一郎

(歯周コース)

口腔機能回復治療と治療計画の立案 (歯周治療VI)

講師/渡辺 隆史・辰巳 順一・林 丈一郎

マルチディシプリナリーアプローチ7・8

(保存修復コース)

カリオロジーとMI修復

講師/宮崎 真至

マルチディシプリナリーアプローチ9・10

(歯内療法コース)

EBMに基づいた効率的な3次元的根管形成、充填 ー歯内療法を見直すー

講師/平井 順

マルチディシプリナリーアプローチ11・12

(矯正・外科コース)

MTMの実際

ーアップライトとエクストルージョンー

講師/渡辺 隆史

マルチディシプリナリーアプローチ13・14

(補綴コース)

精度を追求した補綴治療

ークラウンブリッジの勘所ー

講師/渡辺 隆史

マルチディシプリナリーアプローチ15・16

(補綴コース)

人生100年時代における新たな

有床義歯治療

講師/上演 正

マルチディシプリナリーアプローチ17・18

(補綴コース)

修復治療のデジタル化に向けて

ー審美修復治療から包括的治療までー

講師/貞光 謙一郎

パッケージコース対象特別講座

マルチディシプリナリーアプローチのすべてのコースをお申込みされた場合、「オリエンテーション」及び「まとめ」を Zoom による WEB セミナーにて参加できます。【参加費無料】

2022年4月10日(日) 10:00～

【オリエンテーション】

診査診断治療計画:戦略的治療計画

ー全身単位で診たトリートメントプランの組み立て方ー

- 本コースのオリエンテーション
18 日間の全体の流れについて解説します。
- 基本的な資料収集法と診査・診断治療計画
- 診査から導き出された診断を治療計画にどのように活かしたら良いか、治療計画の立案方法についても解説します。
- ケースプレゼンテーションの方法
本コースを通じてケースプレゼンテーションができるようにします。

2023年2月26日(日) 10:00～

【まとめ】

予防とメンテナンス ーケースプレゼンテーションー

- 本コースのまとめについて解説します。
- 健康を取り戻した口腔環境を永続的に維持するための予防とメンテナンスについて解説します。
- う蝕や歯周病に対するリスク管理をどのように行い、院内システムとしての構築をしたらいかがを解説します。
- 症例ディスカッションを通して日常の臨床における疑問解消を目指します。
- ケースプレゼンテーション
1 症例発表することによりマルチディシプリナリーアプローチの修了証書を発行します。



渡辺 隆史
Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
Takei-Kawazu STUDY CLUB
会長
いづな総合歯顎研究会
(ITDC) 主宰



龍田 恒康
Tsuneyasu Tatsuta

明海大学歯学部
病態診断治療学講座
口腔顎顔面外科学分野
准教授

- 定 員： -
- 日 時：【オリエンテーション】
2022年4月10日(日)
10:00 ～
【まとめ】
2023年2月26日(日)
10:00～
- 会 場：WEB配信 (Zoom)
- 受講料：参加無料
※パッケージコース対象者のみ

【コース番号:13220301】

マルチディシプリナリーアプローチ 1

(歯周コース)

歯周治療の診査・診断と治療計画 (歯周治療Ⅰ)

Examination, Diagnosis, and Treatment Plan for Periodontal Therapy (Periodontal Therapy I)

一口腔単位の治療は、口腔内が清潔で健康な歯周組織のもとで行われなくてはなりません。特に補綴治療に際しては、歯周病を治すことが優先されます。歯周治療の基礎となる診査診断から、SRPに必要な器材の扱い方、そして歯周外科に到るまで、実習を主体に歯周治療の基礎を徹底して解説します。

Point

歯周治療を成功させるために

- 様々な病院因子を見落とさないことが重要です。
- 診査・診断、そしてインプラント治療などの口腔機能回復治療も含めた歯周治療の計画の立て方が重要です。

学習効果

もう一步踏み込めば、歯周治療は楽しくなります。

講義 (Lecture)

1. 歯周病はなぜ治るのか?
2. 患者様に信頼を得るために必要なこと
3. 下顎前歯の見方
4. 歯内歯周病変への対応

実習 (Hands on)

1. 歯周病検査の基本手技
2. 咬合性外傷の見つけ方
3. エックス線写真を深く読み込む
4. 治療計画立案 Practice



■日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会(7単位)



林 丈一郎

Joichiro Hayashi

明海大学歯学部
口腔生物再生医工学講座
歯周病学分野准教授
日本歯周病学会
指導医・専門医



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
Takei-Kawazu STUDY CLUB
会長
いづな総合歯顎研究会 (ITDC)
主宰

マルチディシプリナリーアプローチ 2

(歯周コース)

歯周基本治療(歯周治療Ⅱ)

Cause-related Periodontal Therapy (Periodontal Therapy II)

Point

歯周治療を成功させるために

- 教科書には書かれていないSRP以外に必要な処置についても、症例を通して学んでいただきます。
- 実習では、グレーシー・キュレットの効率が良い正しい使い方を様々な実習を通して身に付けていただきます。

学習効果

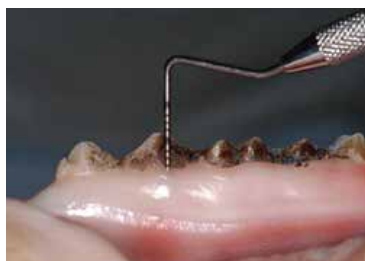
グレーシー・キュレットを上手に使いこなせれば、フラップ手術も上達します。

講義 (Lecture)

1. 電動歯ブラシを使いこなす
2. SRPで何を除去するのか?
3. プラークコントロール以外に必要な処置は何か?
4. 歯周外科手術前に行っておくべき処置
5. 歯周矯正の実例

実習 (Hands on)

1. 抜去歯を用いたグレーシー・キュレットの基本操作
2. マネキンを用いたSRPのポジショニング
3. 豚顎を用いたSRPの実践テクニック
4. シャープニング



■定員：15名

■日時：2日間

2022年5月28日(土)

10:00 ~ 17:00

2022年5月29日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

2

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:13220302】

マルチディシプリナリーアプローチ 3

(歯周コース)

歯周外科処置の基本(歯周治療Ⅲ)

Basics of Periodontal Surgery (Periodontal Therapy Ⅲ)



辰巳 順一

Junichi Tatsumi

朝日大学歯学部

口腔感染医療学講座歯周病学分野教授

日本歯周病学会専門医・指導医

日本顎咬合学会指導医

インターミディエイト

マルチディシプリナリーアプローチ

Point

歯周外科処置での疑問、何を?どうして?の疑問を解消

外科処置自体をあきらめないために

■歯周外科器具の種類と使用法についてのハウツウ

■歯周外科処置の基本中の基本である、理論・解剖・適応症・分類について習得できるよう実習を通して身に付けていただきます。

■歯周外科処置に必要な縫合の基本についてしっかりと理解していただけるよう講義・実習を行います。

歯周外科を本格的に導入し、より高いレベルの歯周外科処置をマスターしたいと考えられている先生方の基本となるコースです。

学習効果

- ▶書籍や研修会で見た症例がすばらしいのはなぜか、が理解できるようになります。
- ▶歯周外科処置だけでなく、インプラントを含めた外科処置の基本的なスキルアップにつながります。
- ▶安全・安心・確実な歯周外科処置を行うために必要な基礎知識が習得できます。

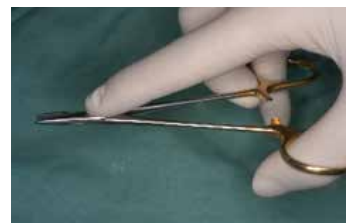
講義 (Lecture)

1. 歯周外科手術の原則
2. 歯周外科処置の歴史と変遷
3. 歯周外科処置に必要な解剖学
4. その症例は歯周外科処置の準備ができたか?
5. 歯周外科処置に必要な縫合の基本スキル



実習 (Hands on)

1. 外科器具の取扱い
 2. オペガムシートを用いた縫合実習
 3. 豚顎を用いた縫合実習
- *手技、コツを学びます。



■日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会(7単位)

3
MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE

マルチディシプリナリーアプローチ 4

(歯周コース)

オープンフラップキュレタージ (歯周治療Ⅳ)

Open Flap Curettage (Periodontal Therapy IV)

Point

- 歯周治療Ⅲで学んでいた歯周外科処置の基本知識と技術をベースに、外科処置の基本であるオープンフラップキュレタージ (OFC) についてしっかりと理解いただけるよう講義・実習を行います。
- これから歯周外科処置を本格的に導入し、より高いレベルの歯周外科処置をマスターしたいと考えられている先生方の基本となる必須のコースです。

学習効果

- ▶安全・安心・確実でしかも効率的な歯周外科処置が行えるようになります。
- ▶歯周外科手技の基本を身につけることで、さらにアドバンスな歯周外科処置を確実に理解してゆくことができるようになります。

講義 (Lecture)

1. 歯周外科処置に用いる器具
2. どのような症例にどのような外科処置を行うのか?
3. 意外と知らない歯周外科の基本(原典から学ぶ)
4. オープンフラップ手術をマスターしよう

実習 (Hands on)

1. 豚顎を用いたオープンフラップ手術
切開, 剥離, 搔把, 縫合



■定員：15名

■日時：2日間

2022年6月25日(土)

10:00 ~ 17:00

2022年6月26日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

4

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:13220303】

マルチディシプリナリーアプローチ 5

(歯周コース)

切除療法と根分岐部病変の治療(歯周治療V)

Resective Therapy and Treatment of Furcation Involvement (Periodontal Therapy V)

歯周外科治療において、歯周ポケットを浅くするための処置は、組織付着療法、切除療法、そして歯周組織再生療法の3つに分類されています。切除療法には、歯肉切除術や歯肉弁根尖側移動術などが含まれていますが、フラップ手術も切開の方法によっては切除療法となります。このいわゆる切除型のフラップ手術は、歯根面が露出することが欠点ですが、組織付着療法や歯周組織再生療法と比較して、最も確実に歯周ポケットを除去できることが利点で、補綴前処置など、使用頻度が高い外科処置です。

根分岐部病変の治療は、病変の進行程度はもちろんのこと、患者によって異なる歯根の解剖学的形態など、様々な要因を考慮して対応しなければならない歯周治療の中でも悩ましい治療です。また、形態が複雑な根分岐部のブライドメントは難しい処置のひとつです。

本コースでは、中等度以上の歯周炎の治療において避けて通れない、この切除療法と根分岐部病変の治療について実習を通して学んでいただきます。

Point

- 中等度以上の歯周炎の治療において避けて通れない、切除療法と根分岐部病変の治療について実習を通して修得
- 歯周ポケットを浅くするための処置
- 患者によって異なる歯根の解剖学的形態などを考慮して対応しなければならない悩ましい治療を攻略

講義 (Lecture)

1. 切除療法の考え方と手技
2. 根分岐部病変の診断と治療法

実習 (Hands on)

1. 豚顎を用いた切除型フラップ手術
2. 豚顎を用いた根分岐部のデブライドメント

■日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会(7単位)



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
Takei-Kawazu STUDY CLUB
会長
いづな総合歯顎研究会(ITDC)
主宰



辰巳 順一

Junichi Tatsumi

朝日大学歯学部
口腔感染医療学講座
歯周病学分野教授
日本歯周病学会専門医・指導医
日本顎咬合学会指導医



林 丈一郎

Joichiro Hayashi

明海大学歯学部
口腔生物再生医工学講座
歯周病学分野准教授
日本歯周病学会
指導医・専門医

5

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

マルチディシプリナリーアプローチ 6

(歯周コース)

口腔機能回復治療と治療計画の立案 (歯周治療VI)

Oral Rehabilitation and Treatment Planning
(Periodontal Therapy VI)

歯周炎患者の多くは、歯や歯周組織の喪失により咀嚼機能や審美性が低下しているため、歯周基本治療や歯周外科治療により歯周組織が改善した後、補綴治療や矯正治療により口腔の機能を回復してあげなければなりません。

口腔機能回復治療には、クラウン・ブリッジや義歯による補綴治療の他、インプラント治療、矯正治療も含まれます。口腔機能回復治療をどのように行うかは、その後の患者のQOLを大きく左右しますし、治療計画にも大きく影響してきます。

本コースでは、実習ではタイポドントを用いた下顎前歯のレベリングを行い、口腔機能回復治療について理解を深めていただきます。また、受講生の皆さま方に、ご自身の担当患者様の歯周治療計画についてプレゼンテーションをしていただき、3人の講師とともにディスカッションする時間を設けています。

Point

- 口腔機能回復治療、クラウン・ブリッジや義歯による補綴治療
- インプラント治療、矯正治療
- タイポドントを用いた下顎前歯のレベリング実習
- 受講生により担当患者の歯周治療計画についてのプレゼンテーションおよびディスカッション

講義 (Lecture)

1. 歯周病患者の口腔機能回復治療
2. 歯周治療におけるMTM

実習 (Hands on)

1. タイポドントを用いた下顎前歯のレベリング

ディスカッション (Discussion)

1. 受講生による歯周治療計画のケースプレゼンテーション

- 定 員：15名
- 日 時：2日間
2022年7月23日(土)
10:00 ~ 17:00
2022年7月24日(日)
9:00 ~ 16:00
- 会 場：千葉・浦安市
明海大学PDI浦安歯科診療所
- 受講料：100,000円
(実習材料費、教材費含む)

6
MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE

【コース番号:13220304】

マルチディシプリナリーアプローチ 7・8

(保存修復コース)

カリオロジーとMI修復

Cariology and MI Restoration with Bonding

齲蝕のマネージャーとしてのカリオロジーという学問は、これまでの知識の蓄積によって確立されたものとなりつつあります。齲蝕が減少したとはいえ、その予防に対する取り組みは今後とも重要なものとなるはず。一方、コンポジットレジン修復においてはレジンペーストの取り扱いである充填テクニックの習得も重要になります。頭で理解することが求められることもありますが充填テクニックの実際は、ハンズオンセミナーを通じて習得する必要がありますと考えられます。それによってコンポジットレジン修復がさらに楽しくなり、患者さんの喜ぶ診療につながるのです。

本コースを受講することで、総合的なカリオロジーの理解とともに、コンポジットレジン修復の手技の基本とともに応用法を理解できるものと確信しています。少人数であるからこそ、密度の高い学びの場が形成されるとともに、それだけ強い刺激をもたらすセミナーとなるはず。

Point

- 今日の歯科診療に欠くことができないものの習得
- 総合的なカリオロジーの理解
- コンポジットレジン修復の手技の基本、応用法の理解
- 明日からの臨床に役立つヒントを得られる
⇒臨床に反映できる知識とテクニックを身に付ける

学習効果

- 最新の歯科材料の使用方法を学ぶことができます。

講義 (Lecture)

1. これからのレジン充填とは
2. 歯質接着の実践的理論
ー納得の接着技術
3. コンポジットレジンの選択基準
4. 審美レジン修復を成功に導く基礎知識
5. 動画によるケースプレゼンテーションで、
充填のコツを知る



実習 (Hands on)

1. 齲蝕の除去と修復処置
2. Class I および II 修復
3. ダイレクトベニア修復
4. シリコンガイドを用いたClass IV 修復
5. 上顎前歯ワンユニットブリッジ



宮崎 真至

Masashi Miyazaki

日本大学歯学部

保存学教室修復学講座教授

日本審美歯科学会理事

日本接着歯学会理事

日本歯科保存学会理事

日本歯科理工学会代議員

■定員：15名

■日時：2日間

2022年7月2日(土)

10:00 ~ 17:00

2022年7月3日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

7・8
MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE

マルチディシプリナリーアプローチ 9・10

(歯内療法コース)

EBM に基づいた効率的な3次元の根管形成、充填 — 歯内療法を見直す —

3 Dimensional Root Canal Preparation & Filling based on EBM - Reconsideration of Dental Remedies -

歯内療法の質をあげることは、治療後の良好な長期予後(Longevity)に繋がります。歯内療法ではまずは歯髄を守ること、抜髄を余儀なくされた場合は歯質を守ること、そして感染根管では歯質を保護しながら根管内を無菌化することが求められます。そのために必要なエンドの基本を、実習を通して解説します。

Point

- 患者様からの信頼を獲得し、その後の治療をスムーズに進行させるため、痛みの無い根管治療の実践は重要
- 歯内療法は「難しい」、「わからない」といわれる原因のひとつ、根管が「肉眼で確認できない」ことを克服
- 肉眼で確認しづらい根管系を3次元的に捉え、オリジナルの根管系を保持した根管形成が可能になれば、歯内療法を成功させることは決して難しくありません。
- 本コースでは、歯内療法のEBMを踏まえ、良好な治療成果を挙げられる「JH エンドシステム」を紹介します。
- 講義およびJH透明根管模型を使用したデモとマンツーマンによる実習を通し、3-D歯内療法を習得し、根管治療の成功に不可欠な「手指の感覚」を身につけていただきます。

学習効果 歯内療法の認識が変わります！

- EBMに基づく歯内疾患の捉え方および歯内疾患と咬合との関連性について学べます。
- 患歯の破折を防ぐための「生体に易しい根管形成法」を体得できます。

講義 (Lecture)

1. 低侵襲歯内療法における臨床
2. 歯内療法と咬合との関連性
3. 歯内治療の基本
4. 根管拡大形成の理想と効率化
5. 根管充填の理想
6. 抜去歯を用いた JH エンドシステムによるデモと解説



実習 (Hands on)

1. JH 透明模型を用いたマンツーマンによる根管治療の実習
2. マンツーマンによる根管充填 (垂直加圧法および側方加圧法)
3. 根管形成法から根管充填までのマンツーマン指導
4. 根管形成法から根管充填までの評価



平井 順

Jun Hirai

平井歯科医院院長
歯学博士
明海大学歯学部臨床教授
国際歯科学士会日本部会理事
米国歯内療法学会 (AAE)
米国歯周病学会会員 (AAP)
日本顎咬合学会常任理事
日本歯内療法学会
代議員・専門医・指導医

■ 定 員：15名

■ 日 時：2日間

2022年10月9日(日)

10:00 ~ 17:00

2022年10月10日(月・祝)

9:00 ~ 16:00

■ 会 場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■ 受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

9・10
MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE

【コース番号:13220306】

マルチディシプリナリーアプローチ 11・12

(矯正・外科コース)

MTMの実際 ーアップライトとエクストルージョンー

Actual MTM (Upright and Extrusion)

咬合崩壊は大臼歯の欠損放置から始まります。近心傾斜した大臼歯の歯軸をアップライトするだけで、治療の予後は格段によくなります。また、審美エリアでは矯正的な歯根の挺出が必要になる場面に多く遭遇します。

本コースでは2日間で、大臼歯のアップライトと上顎前歯のエクストルージョンができるスキルを身につけます。

Point

- 下顎第二大臼歯の近心傾斜を放置するリスクとその改善方法を解説します。
- 近心傾斜した下顎第二大臼歯のアップライトの手法を実習を交えて解説します。
- 部分矯正に必要な矯正器材について解説します。
- 歯の移動のメカニクスと部分矯正に必要な矯正器材について解説します。
- 前歯のエクストルージョン(矯正的牽引)についてその目的を解説します。
- 前歯エクストルージョンの手法を実習を交えて解説します。
- インプラントサイトマネジメントとしてのエクストルージョンの手法について詳しく解説します。

学習効果

- MTMの基本であるアップライトとエクストルージョンを臨床に應用できるようになります。
- MTMに必要なメカニクスと器材について理解が深まります。
- 治療の選択肢が増えます。

講義 (Lecture)

1. 一般臨床に必要な矯正治療の要点
2. 矯正治療の基本
3. MTMの分類と適応症
4. MTMに必要な器材
5. ワイヤベンディングの基本
6. ブラケットポジショニング
7. アップライトのメカニクス
8. エクストルージョンのメカニクス

実習 (Hands on)

1. ワイヤベンディングの基本
2. ブラケットボンディング
3. アップライトセクション
4. エクストルージョンセクション



紹介動画を見る▶



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
Takei-Kawazu STUDY CLUB 会長
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰

■定員: 15名

■日時: 2日間

2022年9月3日(土)

10:00 ~ 17:00

2022年9月4日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場: 千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料: 100,000円

(実習材料費、教材費含む)

11・12

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

マルチディシプリナリーアプローチ 13・14

(補綴コース)

精度を追求した補綴治療 ークラウンブリッジの勘所ー

High precision prosthesis - Key point of crown and fixed bridge -

補綴治療を行う上で、一本のクラウンやワンスパンのブリッジを適切に装着する技術を持つことがどれほど重要なことか、多くの臨床医は気がついていないはず。高精度なクラウンブリッジが作製できないと、フルマウスリハビリテーションなど、大掛かりな補綴治療に良好な予後を求めることはできません。まずは、機能的な咬合面形態を作り、高精度な咬合接触点とえ、適合精度の高いクラウンを作る技術を身につける必要があります。そのためには、咬合論を正しく理解し、半調節性咬合器を扱うスキルも必要になります。本コースでは、クラウンブリッジに必要な咬合論を理解したうえで、印象から装着まで、高精度な補綴物を作製するための勘所を実習を交えて解説します。

Point

- 高精度な咬合・高精度な適合を得るための勘所は何か？補綴物の誤差をなくすための要点を解説します。
- 機能的な咬合面形態とはどのようなものか？クラウンブリッジに必要な咬合論とともに解説します。
- 半調節性咬合器をアジャストして扱えるようにします。
- 高精度な咬合調整ができるようになります。
- プロビジョナルレストレーションの作製と調整方法について解説します。
- マージンの適切な位置はどこか？どのような形態で形成すれば適合が良くなるか？プレパレーションデザインとその考え方について解説します。
- 歯肉圧排と精密印象について解説します。
- 補綴物装着時の注意点について解説します。

学習効果

- 適合精度の高いクラウンを作製できるようになります。
- 精密な咬合接触点を与えることができるようになります。
- 半調節性咬合器が扱えるようになります。

講義 (Lecture)

1. 咬合論の理解
2. 半調節性咬合器の使用目的
3. チェックバイト記録の取り方と半調節性咬合器のアジャスト
4. 形成バーの選択と形成手順
5. 誰にでもできる歯肉を傷つけない綺麗な形成方法
6. 機能的な咬合面形態と咬合調整の方法
7. 圧排の方法とタイミング
8. コンタクトポイントの調整方法とクラウンの装着

実習 (Hands on)

1. 咬合面形態の描写
2. カスタムジグを用いたチェックバイト記録
3. 半調節性咬合器のアジャスト
4. フルクラウン形成

紹介動画を見る▶



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
Takei-Kawazu STUDY CLUB 会長
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰

■定員：15名

■日時：2日間

2022年10月29日(土)

10:00 ~ 17:00

2022年10月30日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

13・14
MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE

【コース番号:13220308】

マルチディシプリナリーアプローチ 15・16

(補綴コース)

人生100年時代における新たな有床義歯治療

New denture treatment with a floor in the age of 100 years of life

人生100年、新型コロナウイルス感染症など社会を取り巻く環境は大きく変化しています。高齢者におけるニーズが高い有床義歯補綴治療の概念は1960年から1970年代に確立されたもので平均寿命は65歳—70歳(男性)でした。患者、術者の問題を抽出して新たな有床義歯治療(局部床義歯、総義歯、その組み合わせ)の方向性を示したいと思います。

自立度が維持され、感染症社会に対応できる人生100年時代における健康長寿の達成のための有床義歯補綴治療を国民にお届けできることを目的としたコースです。

Point

- 無歯顎患者、部分欠損患者の人生を理解することが機能再建には大切です。
- 片顎部分欠損(1歯から13歯まで)→片側部分欠損+無歯顎→無歯顎までの組み合わせをすることが術者には大切です。
- 局部床義歯、総義歯の区別を超えて人生100歳時代に対応できる有床義歯治療を解説
- 知識、手技を理解し構築していただくコースです。

講義 (Lecture)

1. 無歯顎患者の「原理・原則」
2. 無歯顎患者の過去・現在・未来
3. 100歳時代を健康・幸福に生き抜いた無歯顎患者から学び、解析し、未来の無歯顎補綴臨床を構築する
4. 形態的障害、機能的障害を治療用義歯で治療し、口腔機能を再建、維持、管理する
5. 1歯欠損から13歯欠損までの共通点を探る
6. 粘膜・歯牙区域加圧印象法 of 概念(歯牙・粘膜負担の概念)
7. 今後増大する未来型局部義歯補綴臨床の極意
8. 特別セミナー「100歳時代を健康・幸福に生きるための歯科口腔医療がすべての人を明るく、楽しく、幸福にする」を講演

実習 (Hands on)

1. 究極のアルジネート印象法
2. 維持・支持同時印象採得法
3. 機能的顎間記録採得法
4. 治療用義歯の製作・治療法
5. 治療用義歯の調整法
6. 1歯—13歯欠損対応部分床義歯の基本である三次元構成義歯
7. 粘膜区域・歯牙区域加圧印象法
8. 未来型局部床義歯補綴臨床



上濱 正

Akira Uehama

ウエハマ歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本歯科大学生命歯学部
客員教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本臨床歯周病学会認定医

■定員: 15名

■日時: 2日間

2022年11月12日(土)

10:00 ~ 17:00

2022年11月13日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場: 千葉・浦安市

明海大学浦安キャンパス保健医療学部

■受講料: 100,000円

(実習材料費、教材費含む)

15・16

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号：13220309】

マルチディシプリナリーアプローチ 17・18

(補綴コース)

修復治療のデジタル化に向けて — 審美修復治療から包括的治療まで —

Towards the digitalisation of restorative treatment
- From aesthetic restorative treatment to comprehensive treatment -

社会全体がデジタル化に進むなかで、歯科界もデジタル機器の急速な進化により、Personal Computer(PC)のソフト上で診査・診断が可能となると共に、遠隔地の技工士とも即座にコミュニケーションがとれることにより、術後のイメージも明確となってきました。また、修復物においてはPCを使用し、製品の設計・製造をおこない、製造・成形・加工をするCAD/CAMシステムが登場し日常臨床で数多くもちいられており、印象においても従来の印象材を使用することなくIOS(Intra Oral Scanner)を用いた光学印象が活用され良好な結果が示されています。

また包括的治療においては術者の経験値により、その予知性や永続性に大きな影響を受けると考えていましたが、CBCT(cone-beam computed tomography)における診断や、下顎運動機能装置により分析することで、誰もが精度の高い治療を施術することが可能となってきました。

歯科全体がデジタル化に向かうなかで、今回は臨床医の立場から、これからのデジタルソリューションの講義、実習ができたと思っています。

Point

- 歯科治療のデジタル化による客観的な基準
- 客観的な基準による治療の進め方
- デジタルを用いることによる診査・判断力の向上を目指す。

講義 (Lecture)

1. アナログからデジタルへ
2. 日本人に適応した審美修復治療
3. 包括的治療の実際
4. デジタルデンティストリーを目指して



実習 (Hands on)

1. 口腔内スキャナー実習



貞光 謙一郎

Kenichiro Sadamitsu

貞光歯科医院院長
日本顎咬合学会次期理事長・指導医
日本審美歯科学会代議員・認定医
朝日大学非常勤講師

- 定 員：15名
- 日 時：2日間
2023年1月28日(土)
10:00 ~ 17:00
2023年1月29日(日)
9:00 ~ 16:00
- 会 場：千葉・浦安市
明海大学PDI浦安歯科診療所
- 受講料：100,000円
(実習材料費、教材費含む)

17・18
MULTIDISCIPLINARY
APPROACH
18
DAYS COURSE